

第1部

基調講演(15:00~15:40)

「東アジア文化都市2020北九州」に向けて

2020年はオリンピック・パラリンピックが東京で開催され、世界の目が日本に向けられる特別な年です。
この2020年に「東アジア文化都市」の開催都市に選定された本市の文化の魅力やこれからの取組みについて、市長がお話します。



北橋 健治 北九州市長

カフェブレイク ~お茶を片手に文化の魅力を語らしましょう~

第2部

トークショー(16:00~17:00)

未来につながる伝統芸能の魅力

日本舞踊家の藤間蘭黄氏と文化庁文化審議会委員の柴田英杞氏をお招きして、世界から見た日本文化や伝統芸能の魅力、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた文化プログラムなどについて、お話をさせていただきます。



撮影:篠山紀信

藤間 蘭黄 (日本舞踊家)

江戸時代から続く「代地」藤間家の後継者。67年、祖母藤間藤子・母藤間蘭景より踊りの手ほどきを受け68年初舞台。78年、4代目家元藤間勘右衛門より「藤間蘭黄」の名を許される。一門の舞踊会「紫紅会」を主催するほか、流派を超えての「五耀會」や、リサイタル「蘭黄の会」を開催。古典作品の継承に務める傍ら、海外の文芸作品や音楽を題材にした新作も自身の作・演出・振付により発表。2015年にはロシアの世界的バレエダンサー・ファルフルジマトフ、ロシアの国立バレエ団の芸術監督・岩田守弘との『信長』を初演。芸術選奨文部科学大臣賞、文化庁芸術祭新人賞など多くの賞を受賞。平成28年度文化庁文化交流使として海外公演に精力的に取り組む。現在、『国民文化祭おおいだ2018』フィナーレステージの舞踊台本・演出・振付を手がける。



柴田 英杞 (文化庁文化審議会委員、北九州市顧問)

政策研究大学院大学政策研究科文化政策プログラム修了。平成9年度文化庁在外研修員として英米の地域劇場にて研修。平成14年から9年間に渡り、鳥取県文化振興財団文化芸術デザイナーに就任。平成21~25年度に滋賀県文化振興事業団理事兼芸術監督、平成24~29年度に(独)日本芸術文化振興会プログラムオフィサー(演劇分野)を務める。平成28年10月、北九州市顧問、アーツディレクターに就任。現在、文化庁文化審議会委員、(公社)全国公立文化施設協会アドバイザー等を歴任。



司会:林田 スマ

元RKB 毎日放送アナウンサー。
現在はフリーアナウンサーとしてテレビやラジオの番組を中心に企業やPTAの講演などを行う。
また、独立行政法人国立文化財機構理事、福岡県文化団体連合会副理事長、大野城まどかびあ館長としても活躍している。
「RKB ラジオ週末の顔」としても知られている。

北九州市市民文化スポーツ局文化企画課 宛

FAX: **093-581-5755**

住所: 〒803-8501 北九州市小倉北区城内1番1号

タウンミーティング 申込書

申込期限:10月26日(金)まで

代表者氏名

代表者住所 〒

電話番号

その他参加者人数

名

託児ご希望の方

お子様のお名前

生年月日

H . . (才)

こちらにご記入ください。

お子様のお名前

生年月日

H . . (才)

※対象児童:6ヶ月~未就学児